



# まきび通信

校訓：夢へ みんなで まっすぐに

岡山県立倉敷まきび支援学校  
学校だより  
令和7年度10月号

## 【安心できる学び舎に】

厳しい夏の暑さがやっと終わり、日中も過ごしやすくなってきました。子どもたちが安心して活動しやすい季節になり、どの学部も校内外でのいろいろな学習が計画されている10月です。

環境が厳しいときには、子どもたちに対して「正しいことを学ぶには試練も必要」「多少の苦しみを乗り越える経験がないと弱い人間になってしまう」などの誤った考え方にとられやすくなります。安心できる環境になってきたこの時期に、①肯定的なかかわりが基本である、②子どもの主体性を尊重し、思考・判断・選択する場面の時間を大切にする、③子どもの思考や考えを知ろうとし、しっかり受け止める、④子どもの状態や状況を考え、それに合わせて応答的に関わる、⑤子どもに分かる発達段階に合わせた言葉で語る、⑥子どもの負の情動や試し行動に巻き込まれない冷静な態度で接する、⑦直接的なコミュニケーションだけに頼らず、物的な環境調整も並行して行い、言語環境を調整する等、子どもたちが安心して学校生活を送ることのできる関わりを改めて確認し取り組んでいきたいと思います。

いろいろな人と出会い、いろいろな体験ができる時期です。子どもたちの確かな経験となるよう支援していきます。  
(校長 金島 一顯)

## 【地域へ、居住地へ・・・】

社会の中で自立し、社会参加できる子どもたちになるよう、校外に出ても自分の力が発揮できるよう、チャレンジしていきます。校外学習や修学旅行、そして小中学部は、居住地校交流、高等部2・3年生は地域実習にどんどん出て行き、経験を積み重ねています。今月号では、居住地校交流を紹介します。

### 居住地校交流

お住まいの地域の小中学校で、ともに活動すること等の交流を通して、お互いに知り合い、友情を育て合い、認め合うようにと、実施されています。本校の子どもたちにとっても、居住地の子どもたちにとっても、より良い学びの場となっています。



HP

Facebook

## 【行楽期の交通事故防止について】

秋の行楽シーズン。山々が色づき、食べ物もおいしい季節です。また、スポーツの秋でもあります。旅行やイベントに車で出かける方も多いことでしょう。交通事故を起こさないよう、次のことに注意しましょう。

### 1 無理のない計画を立てる

計画を立てるときには、事前に地図やインターネットなどで行き先までの交通状況を十分に調べておきましょう。交通渋滞の発生を見込んで、日程に無理のない、余裕のある計画を立てましょう。

### 2 運転に集中!!

行楽に向かう途中、解放感や同乗者との会話などで、周囲への注意がおろそかになっていませんか。運転に集中して周囲をしっかりと確認、ハンドルなどの運転操作も確実に。また、運転中に疲れや眠気を感じたら、無理をせずに早めに休憩しましょう。

### 3 ダメ!!「ながら運転」

運転中にスマートフォン等を手に持って通話や画像を注視する「ながら運転」はダメ!!他の車や歩行者の発見が遅れるなど大変危険。スマートフォン等は安全な場所に停止して使いましょう。

### 4 シートベルト・チャイルドシートを忘れずに

後部座席を含めた全ての座席で、シートベルトを必ず着用しましょう。6歳未満の子どもを車に乗せる際には、体に合ったチャイルドシートを正しく取り付け、必ず使用してください。

### 5 夕暮れ時は危険な時間帯

秋から冬にかけては、日没が早くなり、周囲の様子が見えにくくなります。事故防止のため、早めにライトを点灯。自動車は、対向車や先行車がない場合はハイビームを活用し、横断者や道路状況の早期把握に努めましょう。

### 6 歩行者、自転車は自分の存在をアピール

夕方・夜間は、ドライバーから歩行者や自転車が見えにくくなる時間帯です。自転車のライトは早めに点け、歩くときは明るい目立つ色の服を着て、リストバンドなどの夜光反射材やLEDライトを身につけて外出し、自分の存在をしっかりとアピールしましょう。

### 7 スピードの出し過ぎは危険

スピードの出し過ぎは、重大事故につながり大変危険です。特に夜間は、周りが見えにくく、視界が狭くなるため、速度の感覚も鈍りがちです。スピードメーターで速度をよく確認し、安全な速度で運転しましょう。

### 8 ルールの厳守

横断歩道の歩行者優先はルール。横断しようとしている、横断中の人がいいたら、止まって進路を譲りましょう。合図を出すのは進路変更の3秒前、右左折の30m手前です。合図をきちんと出して、車の動きを周囲に知らせましょう。赤色信号はもちろん、黄色信号も「止まれ」です。安全に止まれるのに、交差点等に進入するのはとても危険です。信号の意味を正しく理解し実践しましょう。

### 9 飲酒運転の根絶

飲酒運転による交通事故が後を絶ちません。飲酒運転を、「しない」、「させない」、「許さない」社会環境づくりを、みんなで推進しましょう。

### 10 「ゆずる・とまる・まもる」で交通事故防止

他の人や車に進路を「ゆずる」、赤信号・一時停止で「とまる」、速度・合図・信号などのルールを「まもる」。ドライバー、自転車、歩行者、一人ひとりが「ゆずる・とまる・まもる」を心がけ、交通事故を防ぎましょう